

SAMPLE

特集レポート No. 002

激変する建築資材流通

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- 建築業界では、短期的には復興需要や貸家バブルにより新築市場が一時的に伸びているものの、国内の人口減少などを背景に長期的には低迷が続いている。一方で、リフォーム市場は住宅ストックの飽和や政府主導の推進を受け、近年堅調に拡大している
- このような業界動向を受けて、従来はメーカーから卸売業者を通してユーザーに届けられていた建築資材の流通にも大きな変化が起き始めている
- 本レポートでは、現在起きている変化の背景をその担い手とともに紹介することで、建築資材流通の今後の展望を考察する一助としたい

本資料の流れ



- I. 建設市場の概況
- II. 建設資材流通の変化
- III. 流通市場の今後の展望

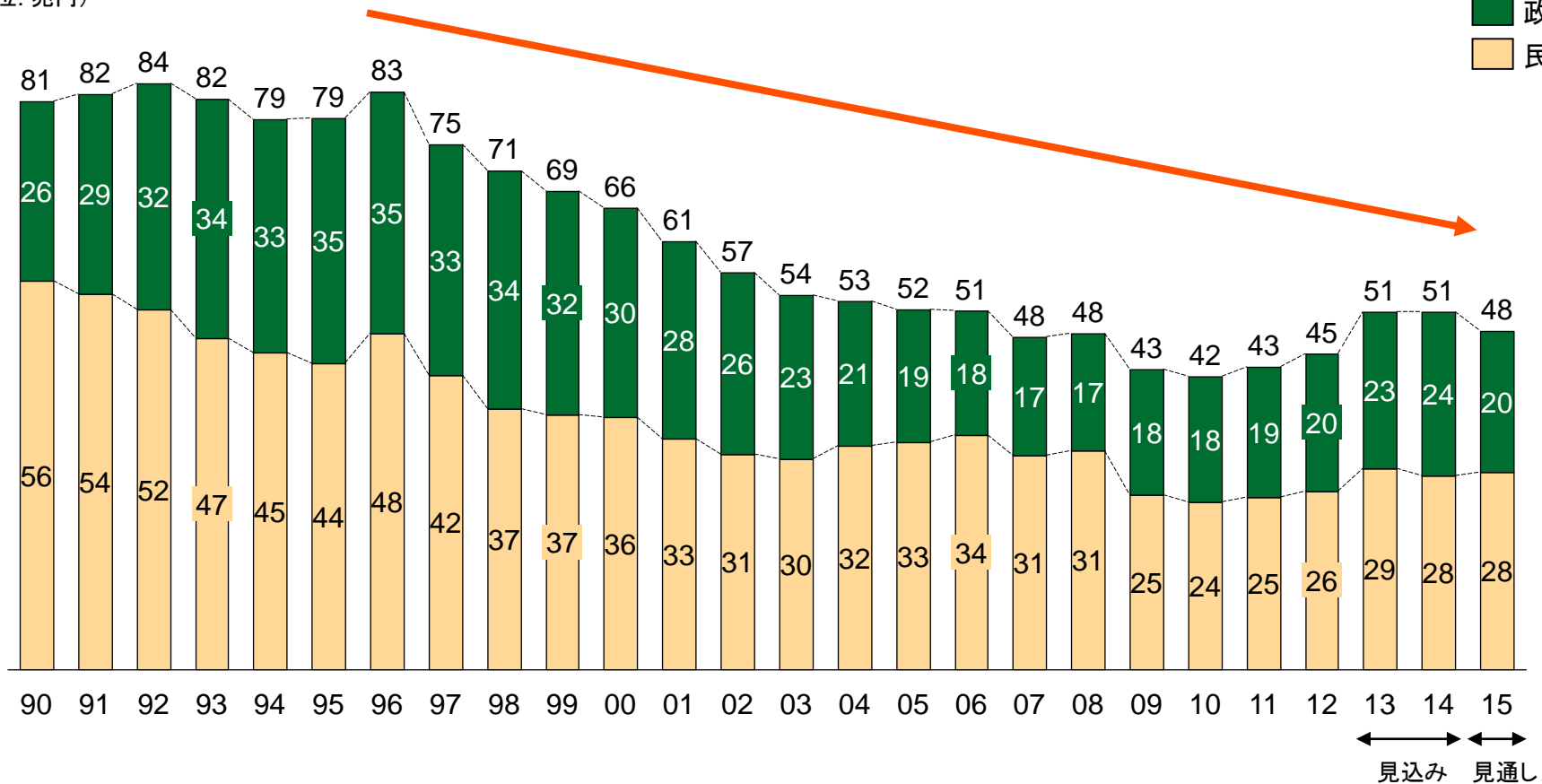
建設投資の長期減少トレンド

- 建設投資は、主に民間部門・政府部門双方の縮小を受け、長期的な減少が続いている

建設投資(名目値)の推移

(単位: 兆円)

■ 政府
■ 民間

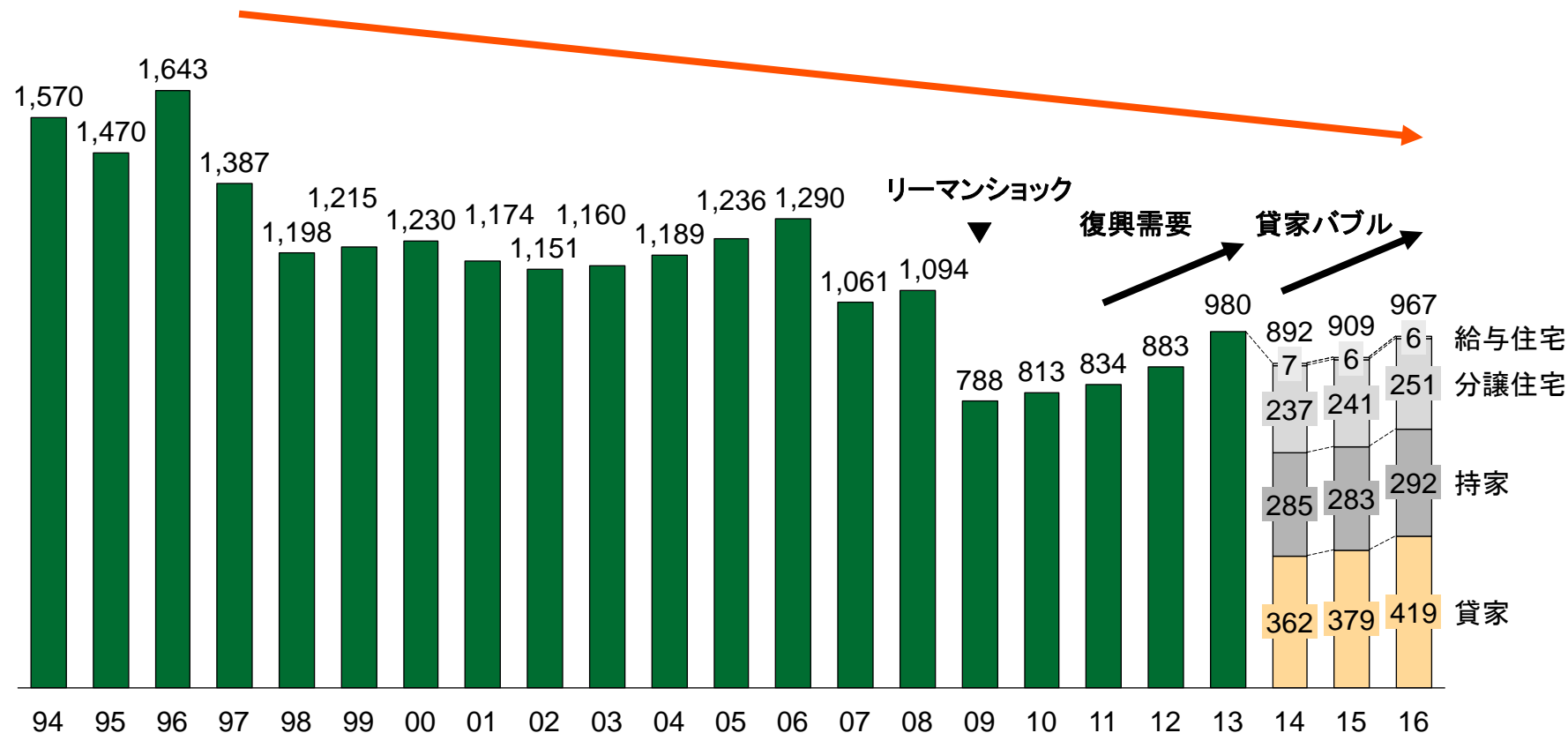


新築住宅着工戸数の長期減少トレンド

- 新築住宅着工数は、足元では復興需要や貸家バブルにより増加傾向にあるが、長期的には減少のトレンドが続いている

新築住宅着工戸数の推移

(単位: 千戸)



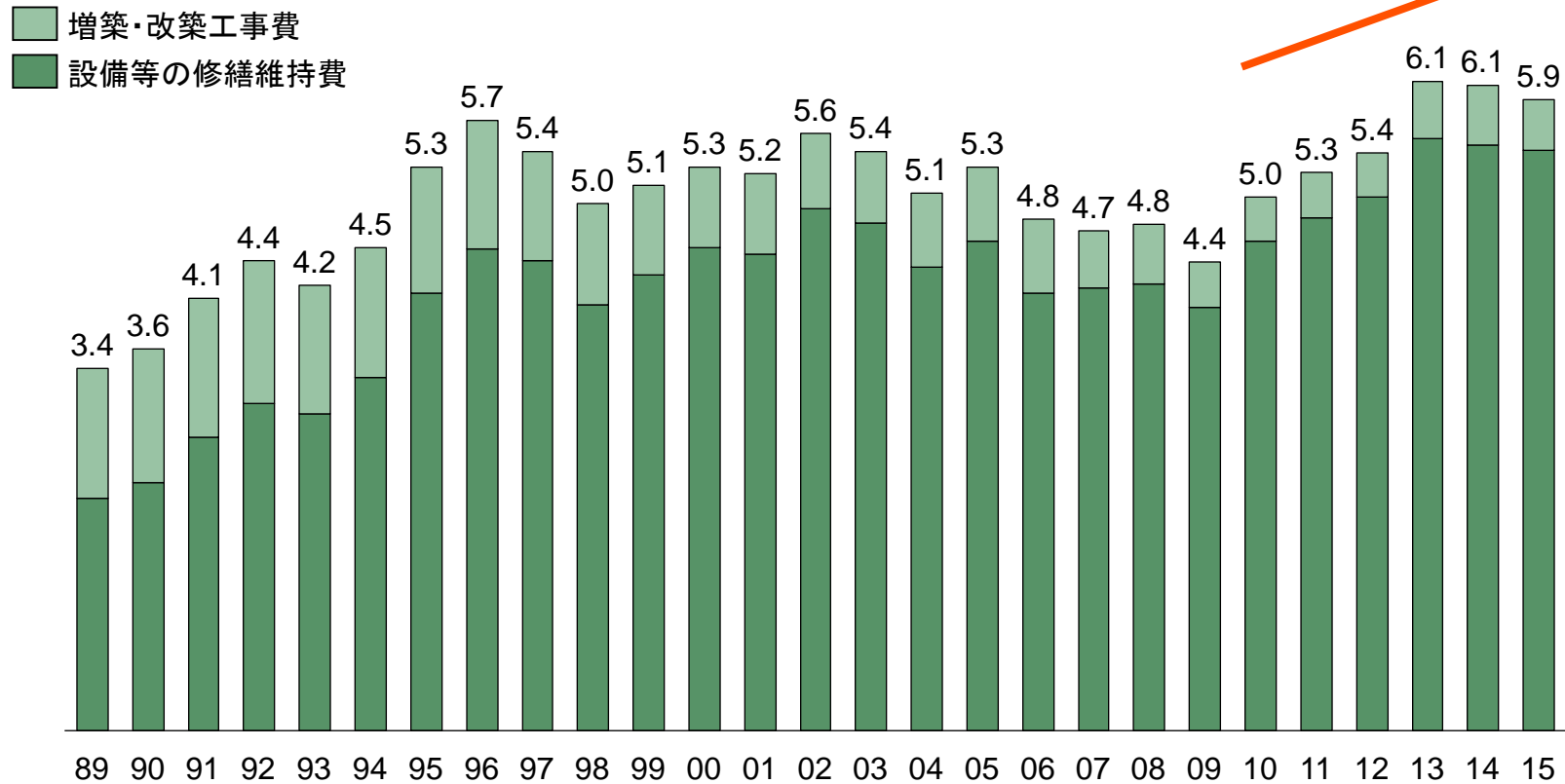
出所: 国土交通省「建築着工統計」

近年リフォーム市場が拡大

- 住宅リフォーム市場は2010年代以降拡大傾向にある
 - 飽和状態にあるストック住宅の老朽化が進んでいることに加え、政府主導のリフォーム推進などが要因

住宅リフォームの市場規模推移

(単位: 兆円)



出所: 公益社団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

